

## 学而第一

子曰、君子食無求飽、居無求安。

敏於事而慎於言、就有道而正焉。可謂好學也已。

子曰わく、君子は、食飽かんことを求むる無く、

居安からんことを求むる無く、

事に敏にして、

言に慎み、

有道に就きて正す。

学を好むと謂うべきのみ。

(1-14)

<子曰わく、君子は、食飽かんことを求むる無く>

Q：「子曰わく、君子は、食飽かんことを求むる無く」とは何ですか。

A：(1)「孔子が言った。学問に志す君子は、食事には満腹を求めず」の意。

(2)「学問修養に志す人は、腹いっぱい食べてはならぬ」の意。

(3)「君子」とは、「学問修養に志している人」の意。

(4)「飽」とは、「腹一杯食うこと」の意。

<居安からんことを求むる無く>

Q：「居安からんことを求むる無く」とは何ですか。

A：(1)「住居には、安泰を求めない」の意。

(2)「住居を得ようなどと思うてはならぬ」の意。

(3)「安」とは、「安逸、安楽」の意。

<事に敏にして、言に慎み>

Q：「事に敏にして、言に慎み」とは何ですか。

A：(1)「やらねばならぬことは、すばやく実行するが、言葉は慎重にし」の意。

(2)「自分の為さねばならないことは速やかに実行し、言葉を慎んで軽はずみを言わない」の意。

(3)「事に於て敏」とは、「せねばならぬことをすばやく行う」の意。「敏」は「疾」の意。行為は怠慢になり易いから、敏を貴ぶ。

(4)「言に慎み」とは、「言葉を慎重にする」の意。言はみだりに発し易いから、慎を重んずる。

< 有道に就きて正す。学を好むと謂うべきのみ >

Q : 「有道に就きて正す。学を好むと謂うべきのみ」とは何ですか。

A : (1) 「道徳的に完成された先輩について、自分の過ちを正して行く。こういう人こそ、好学の人と言えるだろう」の意。

(2) 「更に徳の修まったものに近づき親しんで、己の過ちを正していけるような人であったら、こんな人こそ真に学問好きだということができよう」の意。

(3) 「有道」とは、「学徳のまさった人」の意。

(4) 「正す」とは、「己の是非善悪を質問して、その誤りを正す」の意。

(5) 「好学」。孔子の教えはすべて実践の学。

(6) 「不言実行」は孔子の信条。「君子は言に訥にして行に敏ならんことを欲す」(90)は、孔子の平素の心掛け。孔子はどこまでも実践的であり、行動主義者。学問を好むことは、文字を学び、故事に通じ、理論に長ずることではない。やはり、実践的であり、行動的。倫理を説く者は空言であってはならない。明の王陽明が知行合一の学を説いたのは、蓋し孔子の本懐であろう。

2011年6月7日林明夫記